

## No2474 武奈ヶ岳

日時： 8月16日(日) 曇り時々晴れ  
参加： 岡本(L)、佐々木(記)

近江高島より、9:04発のバスでガリバー旅行村へ。曇り空に太陽の日差しが遮られ、暑さを和らげてくれる。盆の最終日、旅行村を後にする家族連れもそろそろ目に付く。

今日は夕方に天気が崩れるようなので武奈ヶ岳はあきらめて、余裕の山歩きに変更する。何人かの登山者と前後して、我々も歩き始める。

八淵の滝(名瀑100選)は、相変わらず綺麗な谷筋を見せてくれる。目に優しい緑の沢沿いをザイルやチェーンや梯子を超えて進むと、貴船の滝が現れ楽しませてくれる。風の流れがあればさらに快適!

さらに大きな石の沢沿いに進み、右岸から左岸へ危なっかしい木橋を渡り、細い踏み跡を登り詰める。沢筋からそれるように急登をこなし、オガサカ道分岐を直進すると、間もなく右手に幻の滝が木々の間からチラチラと見える。ここまで来ると尾根筋までは、もうすぐである。



急に明るく開けた峠は、八雲ヶ原と北比良の中間点、ホット一息をつくと昼前とあって空腹に気付く。左手方向の北比良へ向かい、比良ロッジ跡の琵琶湖を一望できる木陰で昼食とする。

峠を通り抜けるような風が何とも気持ち良く、全身の汗を持ち去ってくれるようだ。ゆっくりした昼食後は、旧ロープウェイの終点の北比良峠からダケ道を下山する事にする。

ダケ道は、全体的に整備された歩きやすい道であるが、降り初めは浮石が多く少し気を付けて歩かねばならない。

1時間程で正面谷の出会い(大山口の駐車場)となり、林道をイン谷口へと下る。イン谷口から比良駅までは、夏場は朝夕にバスが運行されており(再開)便利である。我々は、元気が残っているため歩く事にする。

比良駅前のおばあちゃんの店でチョット一杯を楽しみに歩いたが、閉店中とあって自動販売機の缶ジュースでがまんする。汗まみれのシャツを着替えて、電車に飛び乗り冷房のありがたさを実感する。

盆とは言え、まだまだ夏の暑さが続くと思われます。体に気を付けて、これからもいい山に登りましょう。

今日は早めの帰宅が可能と、京都駅でそれぞれの電車に乗り継ぐ。岡本リーダー、本日はありがとうございました。

### <参考タイム>

ガリバー旅行村 9:40—10:10 八淵の滝—11:10 オガサカ道分岐—11:35 分岐(八雲、比良) 11:45 北比良(比良ロッジ跡) <昼食> 13:20—13:25 北比良峠—(ダケ道)—14:20 大山口(正面谷出会い)—14:50 イン谷口—15:25 比良駅

